

定積分を扱う際のモノの見方

$f(x)$ を区間 $(-\infty, \infty)$ において連続で、かつ常に $f(x) > 0$ である関数とする。

関数 $g(x)$ を

$$g(x) = \frac{1}{x} \int_0^x f(t) dt \quad (x \neq 0)$$

により定義する。

- (1) $\lim_{x \rightarrow 0} g(x) = f(0)$ であることを示せ。
- (2) $x > 0$ で $f(x)$ が増加するならば、 $x > 0$ で常に $f(x) > g(x)$ であることを示せ。ただし、 $x > 0$ で $f(x)$ が増加するとは、任意の正の実数 s, t に対し、 $s < t$ ならば $f(s) < f(t)$ を満たすときをいう。
- (3) $x > 0$ で $f(x)$ が増加するならば、 $x > 0$ で $g(x)$ も増加することを示せ。

< '05 神戸大 >